

令和7年度 第5学年 授業改善推進プラン

台東区立谷中小学校

児童の実態を踏まえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
【国語】 ・語彙力を高め、それを正しく用いて文を組み立てたり、考えを表現したりすること。	・文脈から言葉の意味を捉える力や語彙力。 ・自分の考えや感じたことを表現するとともに、他者の考えと比較して思考を深める力。	・学習単元毎に言葉の意味を確認したり、派生語を確認したりする。 ・個々が考えを表現する時間を確保し、さらに小集団活動を通して自分の考えや意見を伝え合う機会をつくる。
【社会】 ・資料を掲示して、読み取りができること。また、そこから発展的に考えること。	・日本の産業についての特色や社会の仕組みや状況などを説明できる力。	・授業の中で地図帳や資料集を活用する機会を増やし、特色を捉える授業を行う。 ・資料の読み取りの視点を明確にして、指導を行う。
【算数】 ・問題文を読み取って、立式すること。また、なぜその答えになるか理由を記述すること。	・問題文の中から立式の根拠となる箇所を見付ける力。 ・立式や問題解決の過程を図や式で表現し、他者に伝える力。	・数式の根拠となる箇所を文章題の中から取り出し共有する機会をつくる。 ・答えや理由をペアなどで伝え合う活動を意図的につくる。
【理科】 ・実験の結果を正しく導き出すこと。また、結果と考察の違いを明確にすること。	・実験結果を正しく捉える力。 ・実験において、変化させる要因と変化させない要因を区別して調べる力。	・実験の目的を丁寧に押さえる。 ・結果を比較検討させることで思考力を高める。